

## I 公民館の充実発展に関する事業

### 【公民館研究集会・大会等の開催】

「全国公民館研究集会」及び「ブロック公民館大会」を7地域区分(北海道、東北、関東・甲信越・静、東海・北陸、近畿、中国・四国、九州)で開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で下記のとおりとなった。公民館に勤務する全国の職員等を中心に、多数が参加し、地域社会の現代的課題への対応などのテーマで事例発表や討議及び大学教授等の研究者の講演等を行い、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

### 《開催実績／全国公民館研究集会及びブロック公民館大会》

地区	会期等	主会場	参加者数
北海道	10/20-21	北海道札幌市	200名
東北	10/13-14	福島県いわき市	441名
関東・甲信越・静	10/27-28	茨城県水戸市	1,017名
東海・北陸	9/8-9	富山県富山市	1,201名
近畿	11/10	和歌山県和歌山市	526名
中国・四国	10/21-12/21	岡山県岡山市	1,409名
九州	11/10-12/10	鹿児島県鹿児島市	1,282名
合計			6,076名

※北海道地区は対面とオンラインの開催。

※東北地区は対面とオンラインによる開催。分科会の収録動画配信を実施。

※関東甲信越静地区は対面とオンラインによる開催。当日に続き、動画配信(～R5.7.31)を実施。

※東海北陸地区は対面とオンラインによる開催。後日に収録動画の配信を実施。

※近畿地区は対面による開催。後日に収録動画の配信を実施。

※中国四国地区は収録動画の配信による開催のため、会期等は配信期間。

※九州地区は収録動画の配信による開催のため、会期等は配信期間。

### 【全国公民館セミナーの開催】

各都道府県を代表する公民館長を中心に60名近くの参加により対面で実施した。後日、講義等の一部をYouTubeを活用したオンデマンドで配信した。今年度は以下に記載したプログラムで実施。公民館の機能充実に必要なことを動画視聴で習得し、各地域の公民館の活動にフィードバックすることで、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

テーマ／公民館のミライー未来の公民館をデザインしようー

開催期日／令和5年1月11～13日

開催場所／丸の内MYプラザホール(対面開催)

参加者数／対面59名 動画視聴370名(3月31日までの最大視聴回数)

## 《プログラム内容》

### シンポジウム

「公民館のミライを描こう」

#### 《パネリスト》

永田宏和（デザイン・クリエイティブセンター神戸、センター長）

アサダワタル（アーティスト、文筆家、近畿大学特任教授）

#### 《コーディネーター》

景山良一（飯南町赤名公民館主事／島根県）

### 施策説明

「文部科学省の公民館をめぐる動き」

#### 《講師》

黄地吉隆（文部科学省総合教育政策局地域学習推進課長）

### 講演

「若者が公民館にかかわる！－短期大学と地域・公民館との連携－」

#### 《講師》

三瓶千香子（桜の聖母短期大学教授、桜の聖母生涯学習センター長）

### 特別講演

「紙片でつむぐものがたり」

#### 《講師》

CHIKU（切り絵作家）

### 事例発表とワークショップ

#### 《情報提供者》

宮城 潤（那覇市若狭公民館長／沖縄県）

野嶋京登（浜松市富塚協働センターコミュニティ担当職員／静岡県）

横越知亜紀（高岡市立福岡公民館主事／富山県）

景山良一（飯南町赤名公民館主事／島根県）

#### 《ファシリテーター》

亀丸 翼（玉名市横島町公民館主事）

原口麻里奈（玉名市中央公民館主事）

#### 《コメンテーター》

三瓶千香子（桜の聖母短期大学教授、桜の聖母生涯学習センター長）

### ワールドカフェ

「ミライ」をデザインするワールドカフェ」

#### 《ゲスト》

宮城 潤（那覇市若狭公民館長／沖縄県）

野嶋京登（浜松市富塚協働センターコミュニティ担当職員／静岡県）

横越知亜紀（高岡市立福岡公民館主事／富山県）

景山良一（飯南町赤名公民館主事／島根県）

《ファシリテーター》

亀丸 翼（玉名市横島町公民館主事／熊本県）

原口麻里奈（玉名市中央公民館主事／熊本県）

#### 【相談助言・情報発信・連携協力事業の実施】

##### ① 相談助言・情報発信

日々の公民館活動のなかで「社会教育法上の適否」や「トラブル回避の方法」「活動事例」「公民館の評価」などを情報発信するとともに個別の照会に対し、電話やインターネットを活用した助言を行った。また、各地の公民館で実施する研修会の開催にあたって、講師派遣の相談対応、運営に役立つ情報提供などを適宜行い、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。また、コロナ禍において公民館の安全な運営を担保するために『公民館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン』の改訂版を公表し、全国に周知して各公民館の対応を促した。

##### ② 国・地方公共団体・社会教育団体・機関等との連携協力

社会教育団体振興協議会の運営を通じて実施される情報交換及び情報発信、より多くの協力者を求めて、国内における社会教育に関する理解を深めるための新規の加入促進を行うとともに、全国の公民館の活動推進に資するために、公民館施設活用の促進について、積極的な働きかけを行った。

#### 【地域活動支援事業の実施】

都道府県公連で実施している研修などに対して支援をするとともに、その活動状況を発信することによって公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

・都道府県公連 105 事業に対して 10,650,000 円を支援した。

#### 【公民館広報推進事業の実施】

公民館の広報活動の事例を収集・評価を行い、優良なコンテンツを表彰することによって、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図る事業として、今年度は紙面で発行している活動を対象にした「全国公民館報コンクール」を行った。今年度を実施したコンクールの結果は以下のとおり。

#### （「第9回全国公民館報コンクール」の結果一覧）

種類	受賞館
金賞 (3館)	・ 公民館報「こもろ」（小諸市公民館／長野県） ・ 萩市須佐地域公民館だより（萩市須佐公民館／山口県） ・ 法の郷コミュニティだより（丸亀市飯山南コミュニティセンター／香川県）
銀賞 (4館)	・ 館報やまがた（山形村公民館／長野県） ・ 松永公民館だより「まつなが」（小浜市松永公民館／福井県）

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとだより よしき（山口市吉敷地域交流センター／山口県）</li> <li>・広報わかさ「むすぶ」（那覇市若狭公民館／沖縄県）</li> </ul>
特別賞 (5館)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かさかけ公民館だより（みどり市笠懸公民館／群馬県）</li> <li>・振媛の郷たかとり（高椋東部コミュニティセンター／福井県）</li> <li>・地域情報誌「和合」（庄内町余目第四まちづくりセンター／山形県）</li> <li>・公民館報「いづな」（飯綱町公民館／長野県）</li> <li>・「WAY」「エスプ KID'S」（塩竈市生涯学習センター／宮城県）</li> </ul>
奨励賞 (7館)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館報はしもと（相模原市立橋本公民館／神奈川県）</li> <li>・よしかわ（松本市芳川公民館／長野県）</li> <li>・鳴鹿まほろば（坂井市鳴鹿コミュニティセンター／福井県）</li> <li>・情報たに（飯南町谷公民館／島根県）</li> <li>・たわらやま村民塾（長門市俵山公民館／山口県）</li> <li>・豊田中公民館だより「とよたなか」（下関市立豊田中公民館／山口県）</li> <li>・コミュニティだより「かわおか」（高松市川岡コミュニティセンター／香川県）</li> </ul>

#### 【「月刊公民館」の発行】

公民館の運営に参考になる特集テーマで、地域社会の取組や専門家の論考などを紹介した「月刊公民館」を発行し、これを広く供することで公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図ってきた。今年度は以下の特集を組み発行した。また、誌面と連動した動画配信「月刊公民館ちゃんねる」は、公民館を訪問した取材動画、講義及び座談会などの動画を配信した。

#### （月刊公民館特集テーマ一覧／通巻 779～790 号）

4月号	よくわかる公民館のしごと（上）
5月号	よくわかる公民館のしごと（中）
6月号	よくわかる公民館のしごと（下）
7月号	できる！公民館職員の講座づくりメソッド
8月号	講座運営のヒント
9月号	公民館で取り組むSDGs
10月号	若者が参加する仕組みづくり
11月号	失敗に学ぶーオンライン活用編
12月号	失敗から学ぶ成功へのヒント
1月号	新しい公民館のカタチ（上）
2月号	新しい公民館のカタチ（下）
3月号	第9回館報コンクール結果報告

#### 【専門資料の発行】

公民館活動を行うために必要になる専門資料を発行し、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。今年度は本連合会で作成した「新訂よくわかる公民館のしごと」、「新訂公民館における災害対策ハンドブック」を出版社を通じて第3版を発行

した。また、「公民館必携 平成 29 年版」を出版社を通じて継続発行した。

**【優良公民館等表彰事業】**

他の模範となるような優良な実績を有する公民館職員を表彰すること及び「優良公民館表彰」で文部科学大臣表彰を受賞した公民館に、記念の楯を贈呈すること、『月刊公民館』でその活動を紹介することで公民館関係者の意欲を触発し、力量の向上を促すことによって、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

今年度は以下のとおりの表彰を実施した。

**《優良公民館表彰及び優良職員表彰実績》**

優良職員表彰	18 名を表彰した。
優良公民館表彰	72 館（うち 5 館が特別賞）の受賞館に記念の楯を贈呈し、『月刊公民館』で活動を紹介した。 【最優秀館】 岡山市立京山公民館（岡山県岡山市） 【優秀館】 奥州市北股地区センター（岩手県奥州市） 川西町吉島地区交流センター（山形県川西町） 廿日市市津田市民センター（広島県廿日市市） 長崎市北公民館（長崎県長崎市）

## Ⅱ 公民館総合補償制度に関する事業

### 【見舞金制度事業の運営】

見舞金制度の中で公民館総合補償制度を運営し、健全な制度運営と適切な支払いに努め、以下の弔慰金及び見舞金の支払いを行った。また、剰余金の一部を公益目的事業等の財源に充てた。

### 《見舞金制度支払実績一覧》

種類		件数	支払金額		
行事 傷害	急性疾病死亡弔慰金	7件	700,000円	(162件) 9,133,000円	
	急性疾病入院見舞金	23件	1,393,000円		
	特定災害見舞金	特定災害	27件		1,790,000円
		地震特別	105件		5,250,000円
職員 災害	職員死亡弔慰金	14件	1,400,000円	(400件) 18,028,000円	
	職員入院見舞金	職員入院	191件		7,450,000円
		新型コロナ	195件		9,176,000円
	合計	562件	27,161,000円		27,161,000円

### 【災害補償保険等に係る集金事務に関する事業】

公民館総合補償制度の運営にあたり、保険会社との間で集金事務委託契約を締結し、制度掛金のうち保険料（団体災害補償保険等の保険料）相当部分の集金業務を、請負事業として実施した。当該事業で得られた利益は、公益目的事業の財源に充てた。

## Ⅲ その他の事業

### 【永年勤続職員表彰、功労者表彰及び公連勤続職員表彰の実施】

公民館において長年勤務し、一定の成果をあげた職員を表彰し、立場を同じくする公民館職員への励みとし、同時によき模範となることにより、公民館職員の意欲を触発し、力量の向上を促すことで、公民館機能が向上することをねらって永年勤続職員表彰を行った。

また、都道府県公連における活動の活性化は、本会の目的の達成はもちろん、本会の根幹にかかわるため極めて重要視している。都道府県公連に対して功労があった役職員を表彰することにより、その労をねぎらい、連帯意識の向上に資するために各種表彰を行った。

今年度の表彰実績は以下のとおり。

### 《永年勤続職員表彰、功労者表彰、公連勤続職員表彰実績》

種類	人数
永年勤続職員表彰	229名
功労者表彰	7名
公連勤続職員表彰	2名